

イベント情報

立命館アジア太平洋大学
2017年4月12日 配信 APUリリース 2017-1

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

「ハラール和牛がもたらした飲食市場の可能性」 ムスリム研究センター 第4回特別講座 京都北山 有名和牛焼肉レストラン「南山」の先進事例の紹介

2017年4月19日(水)14時～15時30分
大分銀行 宗麟館5階 大会議室(大分県大分市東大道1丁目9番1号)

この講座では講師に、(株)きたやま南山 代表取締役社長 楠本 貞愛(くすもと ていあい)氏をお招きし、多くのインバウンド観光客や、地元京都の人々を受け入れてきた京都市の有名和牛焼肉店「南山」の先進事例をご紹介します。

(株)きたやま南山は、消費者の健康志向や食の安心安全に取り組み、2014年1月、同社が開発した和牛、「京たんくろ和牛」®がハラール和牛に認証されたのを受け、同年10月には、京都ハラール評議会よりムスリムフレンドリー認証を受けたメニュー約30品目を提供しています。ムスリムフレンドリーメニューを利用する顧客は多いときで1日5組。2017年3月だけでも60組120名の利用があります。本講座では、今後増加し続けるインバウンド客の多様なニーズに応えるための飲食市場の戦略と展望について講演します。

講演テーマ「ハラール和牛がもたらした飲食市場の可能性」

日時 2017年4月19日(水)14時～15時30分
場所 大分銀行 宗麟館 5階 大会議室 大分県大分市東大道1丁目9番1号
言語 日本語
対象 一般参加可(無料)
申し込み 以下のホームページからお申込ください。

<https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/339589?lang=ja>

講演に関するお問合せ先 立命館アジア太平洋大学ムスリム研究センター 0977-78-1134 rcma@apu.ac.jp

講演者プロフィール

(株)きたやま南山 代表取締役社長 楠本貞愛(くすもと ていあい)氏
1956年3月京都市生まれ。京都の高校卒業後、家業の焼肉料理店「南山」(大分県中津市犬丸)の経理を担当し、結婚・出産を経て、5児の母をしながら、出版社自営、パート、派遣社員、嘱託社員などを経験。2001年8月、実家が経営する「南山」が経営破たんした際、清算業務を担当。2004年1月、再生支援を受け、(株)きたやま南山が現店舗(京都市左京区)を取得し、同社代表取締役に就任。
小学校時代は、大分県中津市立今津小学校に通うなど、大分県にも縁がある。



きたやま南山 会社概要

1971年に滋賀県の永源寺ダムに沈む運命にあった築200年の農家を京都の北山通りに移築してつくられた焼肉レストランで、創業者が大分県中津市・北九州市・京都の河原町三条へと出店した後、4店目として開店。2004年に経営移譲後は、和牛1頭仕入に取り組んで「健康食としての焼肉の提供」をめざし、2016年には経済産業省より「はばたく中小企業・小規模事業社300社」(人材育成部門)に選定。

<http://www.nanzan-net.com/>